

北海道アウトドアフォーラム2021 選択ワークショップ時間割

	12月1日(水)		12月2日(木)
	I (14:30~15:45)	II (16:15~17:30)	III (09:00~10:15)
a	キャンプブームの今！	“ととのい”から生まれる新たな発想 ～テントサウナを題材に新たな アウトドアの楽しみ方を考えよう～	『キャンプ場作ってみました！』 アウトドア事業の可能性と未来図
	佐藤 聡 合同会社SOTOIKU 代表	滝川 朗正 美幌町地域おこし協力隊 岸上 夏樹 NPO法人富良野自然塾 八木 秀史 outdoor sauna club	『焚き火キャンプ場士別ペコラ』 億貞 拓磨 Field of Dreams 山下 卓巳 しずお農場 山岡 大介 ウレシカ
b	馬産業と社会教育・環境教育の 連携可能性～蹄鉄クラフトを題材に	地方公務員からの転職！ アウトドア業界転職のススメ！	激論！ 北海道アウトドアの後継者の育成
	志村 直裕 岩手競馬 盛岡競馬場 永田幸宏 厩舎 厩務員	鈴木 悠太 支笏ガイドハウスかのお	中田 和彦 国立日高青少年自然の家 所長
c	アウトドアガイドが 〇〇とフィールドを歩く ※2回実施	知っとくSDGs「広がるプラスチック汚染」	アウトドアガイドが 〇〇とフィールドを歩く ※2回実施
	島田 知明 然別湖ネイチャーセンター	溝淵 清彦 環境省北海道環境パートナーシップオフィス	島田 知明 然別湖ネイチャーセンター
d	日高山脈を外国人登山者に発信する	アウトドア業界の人材・スキル ネットワークを活用した「体験型研修」 ポータル組織の可能性を探る	日高山脈襟裳地域 国立公園化の未来を考えよう
	ロブ・トムソン HokkaidoWilds.org 代表者 北星学園大学 専任講師	中島 吾郎 NPO法人富良野自然塾 長江 孝 こども共育サポートセンター 鈴木 宏紀 自然考房 Nature Designing	高橋 健 日高山脈ファンクラブ 事務局長
e	どんなプログラムも主役は参加者 ～必見！修学旅行ガイド最先端 inジオパーク～	喰えるガイドカンパニーを考える ～ガイドの価値を高める組織とは～	ガイド”としてのコミュニカ 英語は金なり
	横山 光 北翔大学教育文化学部 教授	荒井 一洋 北海道アドベンチャートラベル協議会 会長	イエル 紗知 EZObase 代表
f	社会教育の機会均等を達成するための ワクワク会議	北海道のフィッシングガイドビジネスと 各国の例	SUP(スタンドアップパドルボード)を 活用した地域振興について
	片山 誠 ジャパン・キッズ 代表発起人	奥本 昌夫 北海道アドベンチャー&フィッシング連盟 事務局長	秋葉 暢康 大空町移住・定住支援室 室長 加茂 誠志 ネイパル北見 所長 桜木 和徳 オホーツクサップクラブ 代表
g	ATWS2021のフィードバックと AT定着に向けて	水難事故の事例から学ぶ 原因と対策をみんなで考えよう	
	森 恭兵、田中 大輔、成田 康徳、加茂 聖和 北海道運輸局観光部 ATチーム	齋藤 弘樹 水難学会	

北海道アウトドアフォーラム 2021 選択ワークショップ詳細

I (12月1日 14:30～15:45)

a	タイトル	キャンプブームの今！
	実施者	佐藤 聡 (合同会社 SOTOIKU 代表)
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	キャンプブームの今、用品業界の動きや変化、アウトドア業界への新規参入の話題、ブームだからこそ喚起したい事など、情報や活用できるネタをお届け致します！

b	タイトル	馬産業と社会教育・環境教育の連携可能性～蹄鉄クラフトを題材に
	実施者	志村 直裕 (岩手競馬 盛岡競馬場 永田幸宏厩舎 厩務員)
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	北海道の馬産業の歴史や経済規模を知っていますか？ 乗馬体験の教育効果や競走馬育成の現場の様子を、ジョッキー・厩務員の経験から紹介します。また、育成の過程で生じる蹄鉄を活用したクラフトを体験してもらい、環境教育の題材として意見交換を行います。
その他		

c	タイトル	アウトドアガイドが〇〇とフィールドを歩く
	実施者	島田 知明 (然別湖ネイチャーセンター)
	対象	どなたでも・定員 10名
	内容	アウトドアガイドが、ワークショップの場を借りて興味のある事を自分本意に行ってしまいます。今回は、鳥類調査のプロ、「地域環境計画」の松岡和樹さん、旭山動物園で飼育員をされていた「支笏ガイドハウスかのか」の鈴木悠太さんと自由気ままに、3つの視点で日高の森を歩きます。フリートークするだけです。皆さんも4つ目、5つ目の視点となってフリートークにご参加下さい。 ※野外でのワークショップです。天候に合わせた装備をご用意下さい。
その他	Ⅲ(12月2日 09:00～10:15)にも実施します。	

d	タイトル	日高山脈を外国人登山者に発信する
	実施者	ロブ・トムソン (HokkaidoWilds.org 代表者／北星学園大学 専任講師)
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	日高山脈襟裳国定公園が国立公園に再誕生することによって、海外の登山者からの注目が一気に増すと考えられます。日高山脈の素晴らしい自然界、魅力、貴重な登山文化をいかに発信し、外国人遭難者を増やさない工夫は何か必要なのでしょうか。日高山脈の拠点となるフィールド、潜んでいる魅力を検討し、アイデアを共有し考えるワークショップです。

e	タイトル	どんなプログラムも主役は参加者 ～必見！修学旅行ガイド最先端 in ジオパーク～
	実施者	横山 光 (北翔大学教育文化学部 教授)
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	参加者主体のアウトドアガイドってどうやるの？ 今、教育界は「主体的・対話的で深い学び」というキーワードをもとに教授法が変化しつつあります。そんな学校の教育旅行(修学旅行など)を対象にした「児童が主役のガイド活動」から、これからのアウトドアガイドのあり方について考えます。洞爺湖有珠山ジオパークで実践されたガイドの事例動画を見ながら、みんなでワイワイ議論しましょう。

北海道アウトドアフォーラム 2021 選択ワークショップ詳細

I (12月1日 14:30～15:45)

f	タイトル	社会教育の機会均等を達成するためのワクワク会議
	実施者	片山 誠 (ジャパン・キッズ 代表発起人)
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	若者に選択肢を、日本中の大人で日本中の子どもたちをサポート、社会教育の機会均等、をコンセプトとして2022年より全国一斉にスタートするジャパン・キッズ。第1弾は食と農について体験学習を通じて学ぶプログラムを計画中ですが、第2弾以降もスポーツやアートや研究活動など、様々なジャンルでのプログラムを進めていきます。皆さんも一緒にこのプロジェクトのアイデアを出し合いませんか。

g	タイトル	ATWS2021 のフィードバックと AT 定着に向けて
	実施者	北海道運輸局観光部 AT チーム 森 恭兵、田中 大輔、成田 康徳、加茂 聖和
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	今年9月20日～24日にオンラインで開催されたアドベンチャートラベルワールドサミット(ATWS)北海道。そして2023年にリアルで再度北海道での開催が内定しました。 海外旅行会社・メディアが何に興味を持ったのかをお伝えするとともに、これから何をしていけば良いのかを現場の皆さんの声とともに一緒に考えさせていただきます。

II (12月1日 16:15～17:30)

a	タイトル	"ととのい"から生まれる新たな発想 ～テントサウナを題材に新たなアウトドアの楽しみ方を考えよう～
	実施者	滝川 朗正 (美幌町地域おこし協力隊) 岸上 夏樹 (NPO 法人富良野自然塾) 八木 秀史 (outdoor sauna club)
	対象	どなたでも・定員 10名
	内容	アウトドアと聞くと、登山やラフティングといった体を動かすアクティビティをイメージする方が多いと思います。ところが最近、特に何をしてもなく、ただ自然の中で、自然を感じながらゆったり過ごす、そんな楽しみ方をする人が増えてきています。今回はそのツールのひとつとしてテントサウナを紹介します。新しいアウトドアの楽しみ方や、ライフスタイルについて一緒に考えましょう。

b	タイトル	地方公務員からの転職！アウトドア業界転職のススメ！
	実施者	鈴木 悠太 (支笏ガイドハウスかのあ)
	対象	国公立施設またはそれに準ずる組織の職員・15名程度
	内容	この春、地方公務員(旭山動物園の飼育員)をやめて支笏湖にあるカナディアンカヌーのガイドハウスに転職しました。大きな組織に所属していた人間がその組織を飛び出し、転職ホヤホヤ真っ只中です。 なぜこのような決断に至ったのか？不安は？楽しいことは？後悔は？をまっすぐに共有します。さて、あなたは何かを感じとるのか？ともに今の仕事について考える秘密厳守のワークショップです。

北海道アウトドアフォーラム 2021 選択ワークショップ詳細

II (12月1日 16:15～17:30)

c	タイトル	知っとく SDGs 「広がるプラスチック汚染」
	実施者	溝渕 清彦 (環境省北海道環境パートナーシップオフィス)
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	SDGs では目標 12「つくる責任 つかう責任」目標 14「海の豊かさを守ろう」と関わりの深い「プラスチック汚染」の問題。実は、多くのマイクロプラスチックが陸上からも流出していることをご存知ですか？ガイドや教育の現場で活用できるよう、情報共有と話し合いを行います。

d	タイトル	アウトドア業界の人材・スキルネットワークを活用した「体験型研修」ポータル組織の可能性を探る
	実施者	中島 吾郎 (NPO 法人富良野自然塾) 長江 孝 (こども共育サポートセンター) 鈴木 宏紀 (自然考房 Nature Designing)
	対象	各種体験を「体験型研修」として提供することに関心のある方 野外活動指導者が提供する「体験型研修」体験に興味のある、企業・行政・大学・その他関係者・15名程度
	内容	複雑な社会課題解決のために「人」の育成ニーズは高く、北海道内で活躍されている自然体験指導者の知識やスキルは、そのニーズに応えうるはず。一方で、単体組織での活動では、受け入れキャパシティや情報発信に限界があります。そこで、私たちは「体験型研修」を集約するポータル組織を設立しようと考えています。本ワークショップでは、組織設立賛同者の拡大、アイデア出し、教育研修ニーズの掘り出しを行います。

e	タイトル	喰えるガイドカンパニーを考える ～ガイドの価値を高める組織とは～
	実施者	荒井 一洋 (北海道アドベンチャートラベル協議会 会長)
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	僕は「自分が好きな場所で、好きなことで、ずっと楽しく暮らしたい」と思い 2000年にガイドになりました。ガイド事業を続けていると、その事業が上手に行くパターンや、そこに隠れている原理原則が見えてきました。今回のワークショップでは、ガイド会社の経営者や参謀役をゲストスピーカーにお呼びし、「ガイドの価値を高める経営とは？」「その基本的な考え方？」について考えます。これからガイドをやってみたい方もぜひ！

f	タイトル	北海道のフィッシングガイドビジネスと、各国の例
	実施者	奥本 昌夫 (北海道アドベンチャー&フィッシング連盟 事務局長)
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	フィッシングガイドは、世界各地、特に北海道と同じように、サケ科魚類(トラウト＝マス)の生息する地域では、ごくごく普通に存在するガイドビジネスです。北米のロッキー山脈周辺、カナダ、アラスカ、ニュージーランドやタスマニア、南米のパタゴニア地方、北欧など。特に専門性の高いフライフィッシング(西欧毛ばり釣り)が中心です。山岳溪流での遡行、歩行中心のものから、ドリフトボート(ラフト、カタラフト含む)、ヘリコプターを使用するものまで。海の沖合に出るようなタイプのガイドもあります。今回は北海道でのガイドビジネスに絞って、その現状と問題点、将来性などについてご説明します。補足として、団体の趣旨や目的などについても。

北海道アウトドアフォーラム 2021 選択ワークショップ詳細

g	タイトル	水難事故の事例から学ぶ ～原因と対策をみんなで考えよう
	実施者	齋藤 弘樹（水難学会）
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	実際に起こった事故事例について原因と対策を考え、検証結果から学びます。 #水難事故 #業界の持続可能性 #リスクマネジメント #ライフジャケット #浮力 #検証動画 #皆さんのライフジャケット持ってきてください #日本ライフジャケット アドバイザー（アウェアネスレベル） #講習修了証出します #水上バイク事故 #SUP 事故 #着衣泳 #ういてまて

III (12月2日 09:00～10:15)

a	タイトル	『キャンプ場作ってみました!』アウトドア事業の可能性と未来図
	実施者	『焚き火キャンプ場士別ペコラ』億貞 拓磨 (Field of Dreams) 山下 卓巳 (しずお農場) / 山岡 大介 (ウレシカ)
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	コロナ渦で昨年5月に無謀とも思える民間のキャンプ場がオープンしました。 大きな不安を抱えながらもスタッフ全員の思いはただ一つ! 『ここに集まる全 ての人々が笑顔で幸せな時間を過ごしている姿を想像する』でした。 農場の空き地を有効活用し、廃材を使ってほとんど自分達で作上げたキャン プ場からアウトドア事業の展開と可能性、持続していく為に必要なことは何か? が事が少し見えてきたのでご紹介していきたいと思います。

b	タイトル	激論! 北海道アウトドアの後継者の育成
	実施者	中田 和彦 (国立日高青少年自然の家 所長)
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	北海道のアウトドア業界の将来を支える、若い人材育成について、現状やアイ デアの共有をする機会とします。

c	タイトル	アウトドアガイドが〇〇とフィールドを歩く
	実施者	島田 知明 (然別湖ネイチャーセンター)
	対象	どなたでも・定員10名
	内容	アウトドアガイドが、ワークショップの場を借りて興味のある事を自分本意に行っ てしまいます。今回は、鳥類調査のプロ、「地域環境計画」の松岡和樹さん、旭 山動物園で飼育員をされていた「支笏ガイドハウスかのあ」の鈴木悠太さんと自 由気ままに、3つの視点で日高の森を歩きます。フリートークするだけです。皆さ んも4つ目、5つ目の視点となってフリートークにご参加下さい。 ※野外でのワークショップです。天候に合わせた装備をご用意下さい。
	その他	I (12月1日 14:30～15:45)にも実施します。

d	タイトル	日高山脈襟裳地域 国立公園化の未来を考えよう
	実施者	高橋 健 (日高山脈ファンクラブ 事務局長)
	対象	登山経験者・15名程度
	内容	日高山脈襟裳地域では、国立公園化に向けての作業を環境省が中心となって 進めています。国立公園の環境を保護しつつ持続可能な利用を進めることは、 アウトドア業界の持続可能性と密接に関わっています。 国内外の事例を踏まえて、保護と利用のバランス、トイレや登山道、山小屋など の環境整備費用の捻出方法、実際の整備主体や手法など参加者同士が語る

北海道アウトドアフォーラム 2021 選択ワークショップ詳細

		い、日高モデル案を考えたい。
Ⅲ (12月2日 09:00～10:15)		
e	タイトル	ガイド"としてのコミュカ・英語は金なり
	実施者	イェル 紗知 (EZObase 代表)
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・収入、サービス、価値、安全性、信頼～ここに直結してしまう、使わないで欲しい英語表現～ 返事の仕方、リアクションの仕方一つで相手に印象を持たれるので、良い印象を持ってもらうための挨拶や、small talk(簡単な世間話) ・コミュニケーションは言葉より気持ち ジェスチャーや、声かけがいかに大切か、たくさん英語を知っていた方がもちろん有利ですが、お客様といかにコミュニケーションを図ろうとするかが次につながります。 ・これだけは知っておきたい英語の方程式 今後、少しでも世界共通語の英語を身につけることに意味があるか感じていただくために、いかに英語が簡単か、学びやすさを披露します。 ・英語圏を一括りにしないで 北米・欧米、国が違えば常識も性格も違う！気をつけて欲しい習慣や彼らへの理解 ・参加者からの Q&A 事前に皆さんが知りたいことをアンケート等でリサーチ回答をしていきます。
f	タイトル	SUP(スタンドアップパドルボード)を活用した地域振興について
	実施者	秋葉 暢康 (大空町移住・定住支援室 室長) 加茂 誠志 (ネイパル北見 所長) 桜木 和徳 (オホーツクサップクラブ 代表)
	対象	どなたでも・15名程度
	内容	人気のアクティビティ SUP を活用した地域振興施策のあり方、紋別市、北見市常呂、大空町の広域連携により地域のボトムアップを実施しています。事例の紹介と参加者の皆さんとのトークセッションで新しい課題を模索します。

※各ワークショップとも、申込み人数が定員に達し次第、受付を締め切ります。